

本省課長補佐級



一日のタイムスケジュール 例

6:15	起床、身支度。朝食担当は相方
6:45	朝食
7:05	出勤
8:45	始業
17:30	退庁
18:55	学童保育へお迎え
19:10	帰宅、夕食準備
19:30	夕食
21:30	寝かしつけ
23:30	就寝

「様々な経験を糧に」

直前に第二子妊娠が判明。長期のプランクが不安で、当時は凄く落ち込みました。結果的には、第一子のときよりずっと順調な妊婦生活を過ごせたので、大正解だったのですが、「あんまり落ち込むと生まれてくる赤ちゃんに悪いよ。ちゃんと誕生を喜んであげよう。」と相方に言われるまで気持ちになかなか立て直せなかつたですね。復帰後に自分が仕事を果たせるかも全く自信がなくて、一時は転職も考えました。……でも復帰してみると、プランクは関係なかつたです。環境省は、異動先でこれまでと全く違う分野を

結婚・出産前に得た仕事の基盤

入省から第一子出産までの10年間で学んできた仕事の進め方や知識、それが今の限られた時間でこなす業務の支えとなっていると感じています。まだ右往左往しながら窓口業務をやっていた頃、あるラインで数年がかりのプロジェクトとして作成を行っていた指針が完成しました。そのとき、そのラインの補佐が仰っていた、「国は大体2年で異動になる。専門官、補佐クラス



環境省
大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課浄化槽推進室浄化槽企画官

よしかわ けい こ
吉川 圭子
Keiko Yoshikawa

Profile

- 平成7年** 厚生省入省（1種（土木区分）採用）生活衛生局水道環境部環境整備課産業廃棄物対策室係員
技術係・室窓口
- 平成11年** 生活衛生局水道環境部水道整備課給水装置係長
廃棄物処理法改正法案作成作業等に従事
～結婚
- 平成13年** 短期在外研究（アメリカ）
「米国廃棄物行政に係るリスクマネジメント手法の適用について」をテーマに半年間の在外研究（単身赴任）
- 平成14年** 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課適正処理推進室有害廃棄物対策専門官
産廃持没法案作成作業等に従事
- 平成18年** ～第一子出産
育児休業（1年6か月）
- 平成21年** ～第二子出産
育児休業延長（1年1か月）
- 平成27年～現在** 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室浄化槽企画官
浄化槽に係る制度の企画・立案業務

※経歴一部省略

育児短時間勤務で4時間55分という勤務形態ではありませんでしたが、復帰直後のポストで鳥類へのリスク評価・管理マニュアルを策定するというプロジェクトを在籍中にはやはり遂げることができ、短時間勤務であってもダイナミクスのある仕事が出来たという点で、大きな自信を得ることができました。もちろん周りのサポートあつてのことですが、育休からの復帰後は、残業が難しく、仕事をもち帰っても思うよう

から勉強して担当することが多いので、それと同じことなんですよ。異動に慣れ親しんでいるという点で、民間より有利かも、なんて思ったりもしました。ちなみに我が家の育児は完全分業制で、朝ご飯＆朝の子供たちの送り出しは相方が、夕食＆学童へのお迎えは私が担当し、出張や国会対応等の緊急時はもう一方がカバーしています。二人で分業だから何とかやれていると、日々相方には感謝感謝です。そして両親の支援はもとより、育休中に培ったご近所との絆にも大いに助けられています。

復帰後

には対応できないので、緩急付けて効率的に仕事するスキルが磨かれたと感じています。休日の啓発イベントに子供達が来てくれて、ママカッコイイと言ってくれたときなど、本当に嬉しかったものです。そして、育休中の自己啓発、参加した育児集会の情報、地域活動なども、何かしら今の公務に生かしている部分があると感じています。子育ても仕事も、きついことも悩むこともありませんが、やりがいも大いにあります。周囲の助けに感謝を忘れず、これからも前向きに取り組んでいきたいと思えます。

妊娠から復帰まで

産休に入るまで、体調管理を甘く見て残業を続けた結果、切迫流産になり、室長をはじめ周囲に多大な迷惑をおかけしてしまいました。そして1年半の育休を経て、相方と育休を交代して復帰する予定だったので、その

Message

女性職員へのメッセージ

国家公務員には、男女垣根なく仕事ができ、両性ともに子育てや介護等と仕事を両立できる制度が用意されています。気張りすぎず、様々な経験を自分の糧として、できることを頑張ってください。